

社会福祉法人現況報告書

平成 28 年4月1日現在

I 基本情報

所轄庁	都道府県							
法人名	社会福祉法人久間田福祉会	主たる事務所の所在地	〒 513 - 1123 三重県鈴鹿市下大久保町字丸岡481-5	電話番号	059 - 374 - 1952	FAX番号	059 - 374 - 2092	
ホームページアドレス	http://kumada.org/	メールアドレス	hq@kumada.org	設立認可年月日	H14.3.19		設立登記年月日	H14.3.20
代表者	氏名	年齢	住所	職業	就任年月日			
	澤田 浩一	非公表	非公表	理事長	H14.3.19			

II 事業

社会福祉事業	種類	施設名・事業所名	公表/非公表	所在地	事業開始年月日	定員	実施形態	
							各分野の事業が同一施設(敷地)で実施	全ての事業が同一施設(敷地)で実施
児童福祉	第一種							
	第二種	保育所	公表	鈴鹿市下大久保町字丸岡481-5	H15.4.1	80		
	保育所	高花平保育園	公表	四日市市高花平2-1-53	H20.4.1	70		
老人福祉	第一種							
	第二種							
障害者福祉	第一種							
	第二種							
その他	第一種							
	第二種							

公益事業	種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
1 必要な者に対し、相談、情報提供・助言、行政や福祉・保健・医療サービス事業者等との連絡調整を行う等の事業 2 必要な者に対し、入浴、排せつ、食事、外出時の移動、コミュニケーション、スポーツ・文化的活動、就労、住環境の調整等を支援する事業 3 入浴等の支援が必要な者、独力では住居の確保が困難な者等に対し、住居を提供又は確保する事業 4 日常生活を営むのに支障がある状態の軽減又は悪化の防止に関する事業 5 入所施設からの退院・退所を支援する事業 6 子育て支援に関する事業 7 福祉用具その他の用具又は機器及び住環境に関する情報の収集・整理・提供に関する事業 8 ボランティアの育成に関する事業 9 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業(社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・コミュニケーション支援者等の養成事業等) 10 社会福祉に関する調査研究等 11 事業規模要件を満たさないために社会福祉事業に含まれない事業 12 介護保険法の居宅サービス事業、地域密着型サービス事業、介護予防サービス事業、地域密着型介護予防サービス事業、居宅介護支援事業、介護予防支援事業、介護老人保健施設、地域支援事業を市町村から受託する事業 13 有料老人ホーム 14 社会福祉協議会等において、社会福祉協議会活動等に参加する者の福利厚生を図ることを目的として、宿泊所、保養所、食堂等を経営する事業 15 公益的事業を行う団体に事務所等として無償又は実費に近い対価で使用させるために会館等を経営する事業 16 その他 ()					
収益事業	種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
1 法人の所有する不動産を活用して行う貸ビル 2 駐車場の経営 3 公共的、公共的施設内の売店の経営 4 その他 ()					
その他の事業	種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
	7	くまだ保育園	鈴鹿市下大久保町481-5	H15.4.1	—
	7	高花平保育園	四日市市高花平2-1-53	H20.4.1	—
1 介護保険、障害福祉サービス等における低所得者の利用者負担減免 2 地域の単身高齢者等を対象とした見守り・配食サービス等の実施 3 地域の単身高齢者等を対象とした各種相談事業の実施 4 災害時における各種支援活動の実施 5 貧困・生活困窮者等を対象とした住宅の斡旋、食事提供等の生活支援の実施 6 他法人との連携による人材育成事業 7 その他 (地域子育て支援として園庭開放を実施)					

	定員		現員														
	0		0														
	氏名	職業	任期	親族等特殊関係者の有無			理事の親族	資格					施設整備又は運営と密接に関連する業務を行う者	理事との兼務	職員との兼務	評議会への出席回数	
親族				他の社会福祉法人の役員	その他	社会福祉事業の学識経験者		地域の福祉関係者	地域の代表者	施設長	利用者の家族の代表	その他					
評議員			～														
			～														
			～														
			～														
			～														
			～														
			～														
			～														
			～														
			～														
施設長	施設名		氏名		就任年月日		法令等に定める資格の有無										
	くまだ保育園		澤田恭子		H15.4.1		有										
	高花平保育園		澤田浩一		H24.4.1		有										
職員	常勤専従	常勤兼務		非常勤													
		換算数		換算数													
	法人本部																
	施設	23	0	0	24	13.8											
理事会	開催年月日		出席者数	書面出席者数	監事出席の有無	決議事項											
	H27.5.23		6	0	無	平成26年度決算報告及び承認、就業規則改定											
	H28.3.12		6	0	有	平成27年度事業報告、平成27年度補正予算、平成27年度事業計画、平成28年度当初予算											
評議員会	開催年月日		出席者数	監事出席の有無	決議事項												
監事監査	監査年月日		監査者		監査報告の有無	指摘事項					改善事項						
	H27.5.18		大久保猛・武田潔子		有	なし											

5. 関連当事者との取引の内容

種類	法人等の名称	住所	資産総額(千円)	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
						役員等の兼務等	事業上の関係				

6. 地域の福祉ニーズへの対応状況

事業概要	実施の有無	事業開始年度	本年度支出額(千円)
1 介護保険、障害福祉サービス等における低所得者の利用者負担減免			
2 地域の単身高齢者等を対象とした見守り・配食サービス等の実施			
3 地域の単身高齢者等を対象とした各種相談事業の実施			
4 災害時における各種支援活動の実施			
5 貧困・生活困窮者等を対象とした住宅の斡旋、食事提供等の生活支援の実施			
6 他法人との連携による人材育成事業			
7 その他 (地域子育て支援として園庭開放を実施)	○	平成15年度	—

(注)「本年度支出額」については、当該事業に対する費用として、明確に算定出来る場合に限り記載しており、明確に算定出来ない場合は「—」を記載している。

平成27年度久間田福社会 事業報告

平成27年度に開始した子ども・子育て新制度ですが、短時間保育と標準時間保育という2類型ができたことで、現場に大きな負担がかかることを心配していましたが、実際には役所の事務が混乱し、現場や保護者も手続きが煩雑になった程度でした。しかし、委託費や補助金といったお金の面については、役所・現場ともに混乱している現状です。

平成27年度においても久間田福社会は地域に根ざして乳幼児の養護と教育を行おうと努力し、また、心と体のバランスがとれた子どもとなるように心がけてきました。

1. くまだ保育園事業報告

地域の子育ての幹となるために

(1) 子どもの最善の利益を求める保育を

① しつけ・共育

生活の仕方、生活のリズムやしつけの方法、社会的なルールの伝え方など、基本的な生活習慣について、園のたよりやクラスだより、懇談会、保育参加、運動会、生活発表会などの場で、継続的に保護者へ伝えてきました。来年度以降も、子育ての中で子ども・保護者・職員の全員が共に育っていけるような園作りを目指し、継続して活動していきたいと考えています。

② 異年齢児保育

年長児と年中児の異年齢児保育を本格的に行いました。昨年度までよりもさらに交流度合いを深め、室内での自由遊びコーナーを年長児と年中児の部屋にちりばめ、両クラスが混合で遊べるように環境を設定しました。また、リズムあそびやプールあそび、英語あそびについても両クラス合同で行う時間を設けました。

異年齢児保育の中で、年長児は年中児に遊びのルールや竹馬の乗り方、体の動かし方などを伝え、年中児は年長児に憧れ、難しいことに挑戦する姿が見られました。

③ 職員間での情報共有

子どもに対する理解を職員間で共通の物とするため、毎日のミーティングや保育中の連絡、毎月の職員会議、ミーティングや職員会議の議事録などを通じて情報共有を行ってきました。

職員・保護者間での共通理解については、懇談会や保育参加、毎日の送迎時での会話で深めてきました。

④ 食育活動

例年通り給食材料のグループ分け(赤・黄・緑・白)を毎日行いました。また、お米研ぎを冬以降行いました。通年で衛生的な食事の仕方についても指導を行いました。

本年度は栄養士が主体となり、家庭であまり食されていない乾物(高野豆腐・ひじき・かんぴょう等)を中心とした献立を作成し、また、1年を通じて子どもたちに乾物を紹介しました。また、切り干し大根や干し芋を子どもた

ちと一緒に作成し、味わいました。

上記活動を「不思議な食べ物 乾物に触れよう」というレポートにまとめ、NPO 法人キッズエクスプレス 21 主催の第 10 回食育コンテスト「いただきます、ごちそうさま」に応募したところ優秀賞に選ばれ、2 月 27 日(土)にすみだリバーサイドホールにて表彰を受けました。

また、地域の皆様にご協力頂きながら、お米や野菜(サツマイモ・ジャガイモ・オクラ・ピーマン・ゴーヤ・ヘチマ・プチトマト・キュウリ等)を育てて収穫し、食べる事も行いました。お米は、今年は精米前で 3.8kg(前年 3.1kg)の収穫となりました。

昔ながらの行事に伴う行事食についても、お月見会、もちつき会、子ども新年会や豆まき会、ひな祭り会等で各行事にあわせた献立で給食を行いました。

⑤ 園庭開放

地域の子育てのサポートとして、園庭解放(なかよしデー)を 5 月から 1 月までの間、原則月 2 回、年間 15 回行い、未就園児累計 110 名とその保護者累計 89 名に保育園を利用していただき、子育て相談に応じました。

本年度より市の広報紙での園庭開放のアナウンスがなくなり、鈴鹿市のホームページのみでのアナウンスとなったこともあり、来園人数が半減しています(前年度は未就園児の来園数累計 225 名でした)。来年度は、広報のあり方についても検討していこうと思います。

⑥ 英会話

本年度も引き続き、毎週火曜日午前中に、亀山在住のイギリス人、アビゲイル・ロイドさん(アビさん)による英語で遊ぶ時間をもうけました。年長児、年中児の異年齢でアビさんとあそび、徐々に英語になれていきました。英語の歌を歌いながら体を動かしたり、戸外あそびでアビさんと一緒に体を動かして自由に遊んだりしました。

⑦ 流行性感冒

2 月末から 3 月初めにかけてはインフルエンザが流行しました。オゾン消毒器をインフルエンザが流行したクラスに保育後に設置して、感染拡大防止に努めました。感染拡大は比較的小規模で収まったかと思います。

なお、オゾン消毒器は、平常時は給食室の消毒及び害虫防除に使用しています。

⑧ 地域活動

鈴峰中学校と西陵中学校からともに 3 人 3 日間の職場体験を受け入れ、地域の教育支援を行いました。

⑨ 防災活動

くまだ保育園が幼年消防クラブとして活動していることもあり、鈴鹿市防火協会より「火の用心」と書かれた防火活動啓発テントの寄贈を受けました。

(2) 高花平保育園との交流

- ① くまだ保育園と高花平保育園で給食献立を統一し、くまだ保育園より高花平保育園へ園長と栄養士が月 1 回打合せに出向き、高花平保育園の給食調理員と献立について話し合いました。
- ② 本年度は日程調整がつかず、両園合同研修を行えませんでした。次年度は合同研修を企画し、両園の保育士同士の交流及び研鑽に努めたいと思います。
- ③ 運動会は両園が同日開催だったため交流はできませんでしたが、生活発表会はお互いの保育士がお互いの会を参観し、研修活動としました。

(3) 行事

行事は下表のとおり実施しました。

また、毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定、作品展を行いました。

10月末から12月初めにかけて、試食会(保育参観・給食試食・個人懇談)を行いました。

4月	1日	入園式
5月	9日	わくわく広場・懇談会
6月	4日 22日	歯科検診 内科検診
7月	3日 18日	七夕会 夕涼み会
8月	18日	指導監査
9月		
10月	10日 16日 21日～	運動会 遠足 芋掘り・稲刈り・脱穀
11月	11日 21日 27日	動物園見学(年長児) 竹馬教室(年中児) 焼き芋
12月	19日 22日	クリスマス会 餅つき会
1月	8日	子ども新年会
2月	3日 20日 25日	豆まき会 生活発表会 おわかれ遠足(年長児)
3月	3日 15日(予定) 17日(予定) 19日(予定)	ひな祭り会 おわかれ会 内科・歯科検診 卒園式

2. 高花平保育園事業報告

地域の子育ての幹となるために

(1) 子どもの最善の利益を求める保育を

① 食育について

園庭でミニトマト、イチゴ、ゴーヤなどをつくり、ブドウ、びわ、栗等を収穫しました。また、畑ではサツマイモ、ナス、キュウリ、ピーマン、ウリなどをつくり、また、収穫した野菜や果物でクッキング体験も行いました。

米作りについては、例年通り、足洗い場を利用した小さな田んぼで行いました。年長児が種まき、田植え、稲刈り、脱穀、もみすり、米作りの各段階を体験しました。収量は昨年より少なかったですが、おにぎりにしてみんなで食べました。

鳥獣被害対策として、単管パイプパイプと防護用ネットによる小屋掛けを作成し、また、サル対策用の煙火消費保安講習を受けて花火を使用しました。その成果もあり、柿、びわ、ブドウは多少被害にあったものの、他の作物の被害は抑えられました。

② よく遊ぶことについて

高花平保育園でさくらんぼリズムを取り入れてから5年目となりました。複雑な運動を行う前の基礎段階として、さくらんぼリズムは有効であると実感しています。後述する竹馬や、なわとび、鉄棒などの運動あそびにもつながってきている様に思います。

また、竹馬づくりについては、2年目となりました。子どもたちは、昨年度、4歳児秋の終わり頃に家族と竹馬をつくり、5歳児6月の終わり頃には竹馬のかさ上げを行い、5歳児10月の運動会で披露をしました。家族と竹馬を作ったことは、子供のやる気を一層促し、ほとんどの4歳児の子がすぐ乗れるようになりました。

(2) 地域の子育てのサポート

① 高花平幼稚園との定期的な交流（幼保交流）と高花平地区社会福祉協議会福祉部の交流事業（ふれあい会や高花平小学校1年生を含めた合同ふれあい音楽会）等、地域の各団体との交流を行いました。

② さくらんぼ会を通して、地区内外の親子に保育園を利用してもらい、また、子育て相談にも応じました。未就園児累計97名とその保護者累計63名に保育園を利用していただき、子育て相談に応じました。

(3) くまだ保育園との交流

① くまだ保育園と高花平保育園で給食献立を統一し、くまだ保育園園長とくまだ保育園在籍の栄養士が月1回打合せに来て、園長、主任保育士、食育担当保育士、給食調理員と、食育・献立について話し合いました。

② 本年度は日程調整がつかず、両園合同研修を行えませんでした。次年度は合同研修を企画し、両園の保育士同士の交流及び研鑽に努めたいと思います。

③ 運動会は両園が同日開催だったため交流はできませんでしたが、生活発表会はお互いの保育士がお互いの会を参観し、研修活動としました。

(4) 行事

行事は下表のとおり実施しました。

毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行いました。

試食会、保育参加を開催しました。また、保護者懇談会を二度開催しました。

4月	2日	入園式
5月	1日	こどもの日の集い
	9日	親子で遊ぼう会
7月	2日	プラネタリウム見学(5歳児)
	7日	七夕の集い
	22日	夏まつり
8月		
9月	9日	おじいちゃんおばあちゃんと遊ぶ会
	16日	栗ひろい(5歳児)
10月	10日	運動会
	16日	消防署防災指導
	21日	秋の遠足
	31日	竹馬作り(4歳児)
11月	4日	さんま焼き会
	11日	動物園見学(5歳児)
	19日	内科、歯科検診
12月	22日	クリスマス会
	25日	おもちつき
1月		
2月	3日	豆まき会
	13日	生活発表会
3月	1日	人形劇
	3日	ひな祭り会
	8日	おわかれ遠足(5歳児)
	10日	内科・歯科検診 新入園児説明会
	19日	卒園式

平成28年度久間田福祉事業計画

平成28年度は子ども・子育て新制度2年目で事務手続きの混乱が解消されると期待しています。そして、平成29年度より、社会福祉法人改革が始まる予定です。また、平成29年度に鈴鹿市にも認定こども園が2園設立される予定です。

このような状況の中で、子どもの成長を保障する保育をすることが何より重要だと考え「地域における児童福祉の核になる」ことを目指して努力し続けたいと思います。認定こども園については、移行検討を含め、引き続き研究していきます。高花平保育園に関して、四日市市の幼稚園統廃合で高花平幼稚園が廃園となる事を踏まえ、どのような提案が出来るか検討したいと思います。

1. くまだ保育園事業計画

(1) 共に育ち合う「共育」を目指した保育を

- ① 生活リズム、挨拶など、基本的な生活習慣を保護者・職員が一緒になって子どもに伝え合い、子育ての中で子ども・保護者・職員の全員が共に育っていけるような園作りを目指して保育していく。
- ② 異年齢での関わりを多く持ち、子ども同士で育ち合うような保育環境を整える。
- ③ 子どもに対する理解を、職員間、また、職員・保護者間で共通のものとし、子どもへの一貫した対応を行い、健やかな育ちを保障していく。
- ④ 栄養士と共に食育活動を保育の中への取り入れ、再度見直し、食べることに興味や関心が持てるように努める。また、「保育と行事食」をテーマに、子ども達に日本の伝統文化に触れる機会を多く持たせていく。その他、「食」に関心を持たせるため、栄養士を交えて食育活動に取り組む。

(2) 地域の子育てのサポート

- ① 園庭開放(なかよしデー)を毎月第2、第4水曜日に行い、地域の子育て相談についてもその場で受け付ける。
- ② 一時保育は自主事業として行っていく。

(3) 高花平保育園との交流

- ① 高花平保育園と給食献立を統一し、食育の浸透を図っていく。
- ② 共通の研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。

(4) 環境の整備

- ① 園舎設備や遊具の老朽化が目立ってきたため、適宜修繕していく。

(5) 行事予定

- ① 毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定、作品展を行う。
- ② 10月、11月は試食会、保育参観、個人懇談を行う。
- ③ その他行事予定を下表に示す。

4月	入園式
5月	わくわく広場・懇談会
6月	歯科検診 歯磨き講習会 内科検診
7月	七夕会 夕涼み会
8月	
9月	お月見会
10月	運動会 遠足
11月	動物園見学(5歳児) 竹馬教室(4歳児)
12月	焼き芋会 餅つき会 クリスマス会
1月	子ども新年会
2月	豆まき会 生活発表会
3月	ひな祭り会 内科検診 おわかれ遠足 お別れ会 卒園式

2. 高花平保育園事業計画

(1) 子どもの最善の利益を求める保育を

- ① 子どもの発達に合わせた保育環境を整えられるように研修をし、実践に努める。
- ② 子どもに対する理解を職員、保護者で共通のものとしてできるように努め、子どもの健やかな育ちを保障する。
- ③ 食べることに興味関心が持てるように食育を保育の中に積極的に取り入れる。

(2) 地域の子育てのサポート

- ① 幼稚園、地区社協、地区自治会との交流を実施する。
- ② 園庭開放(さくらんぼ会)を毎月第 2、第 4 木曜日に行う。このとき、子育て相談も受け付ける。
- ③ 今年より一時保育事業を実施する。

(3) くまだ保育園との交流

- ① くまだ保育園と給食献立を統一し、食育の浸透を図っていく。
- ② 共通の研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。

(4) 環境の整備

- ① 木造園舎の老朽化が進んでいるため、適宜修繕を行い、子どもたちの活動に悪影響を及ぼさないよう努める。
- ② 一時保育室との連絡通路を考える。

(5) 行事予定

- ① 毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行う。
- ② 試食会、保育参観、保護者懇談会の開催。
- ③ その他行事予定を以下の表に示す。

4月	入園式
5月	こどもの日の集い 親子で遊ぼう会
6月	
7月	プラネタリウム見学（5歳児） 七夕の集い 夏まつり
8月	
9月	おじいちゃん、おばあちゃんと遊ぶ会 栗拾い(5歳児)
10月	運動会 秋の遠足 消防署防災指導
11月	竹馬教室（4歳児） サンマ焼き会 内科歯科検診
12月	クリスマス会 もちつき会
1月	
2月	豆まき会 生活発表会 ふれあい音楽会（4，5歳児） .おわかれ遠足（5歳児）
3月	ひな祭り会 おわかれ会 内科歯科検診・新入園児説明会 卒園式

資金収支計算書

(自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
事業活動による収支	収入					
	介護保険事業収入	0	0	0		
	老人福祉事業収入	0	0	0		
	児童福祉事業収入	0	0	0		
	保育事業収入	173,575,674	182,583,426	△ 9,007,752		
	就労支援事業収入	0	0	0		
	障害福祉サービス等事業収入	0	0	0		
	生活保護事業収入	0	0	0		
	医療事業収入	0	0	0		
	〇〇事業収入	0	0	0		
	〇〇収入	0	0	0		
	借入金利息補助金収入	0	0	0		
	経常経費寄附金収入	230,000	149,000	81,000		
	受取利息配当金収入	33,500	35,810	△ 2,310		
	その他の収入	2,101,000	2,062,336	38,664		
流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0			
事業活動収入計(1)	175,940,174	184,830,572	△ 8,890,398			
支出	人件費支出	118,753,110	117,899,488	853,622		
	事業費支出	25,713,280	25,636,009	77,271		
	事務費支出	8,602,950	7,252,256	1,350,694		
	就労支援事業支出	0	0	0		
	授産事業支出	0	0	0		
	〇〇支出	0	0	0		
	利用者負担軽減額	0	0	0		
	支払利息支出	113,280	113,280	0		
	その他の支出	0	0	0		
	流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0		
事業活動支出計(2)	153,182,620	150,901,033	2,281,587			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	22,757,554	33,929,539	△ 11,171,985			
施設整備等による収支	収入					
	施設整備等補助金収入	0	0	0		
	施設整備等寄附金収入	0	0	0		
	設備資金借入金収入	0	0	0		
	固定資産売却収入	0	0	0		
	その他の施設整備等による収入	0	0	0		
施設整備等収入計(4)	0	0	0			
支出	設備資金借入金元金償還支出	2,360,000	2,360,000	0		
	固定資産取得支出	216,000	379,000	△ 163,000		
	固定資産除却・廃棄支出	0	0	0		
	ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0		
	その他の施設整備等による支出	0	0	0		
施設整備等支出計(5)	2,576,000	2,739,000	△ 163,000			
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 2,576,000	△ 2,739,000	163,000			
その他の活動による収支	収入					
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0		
	長期運営資金借入金収入	0	0	0		
	長期貸付金回収収入	0	0	0		
	投資有価証券売却収入	0	0	0		
	積立資産取崩収入	0	147,282	△ 147,282		
	その他の活動による収入	0	0	0		
	その他の活動収入計(7)	0	147,282	△ 147,282		
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	
		長期貸付金支出	0	0	0	
投資有価証券取得支出		0	0	0		
積立資産支出		17,000,000	17,001,826	△ 1,826		
その他の活動による支出		0	0	0		
その他の活動支出計(8)	17,000,000	17,001,826	△ 1,826			
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 17,000,000	△ 16,854,544	△ 145,456			
予備費支出(10)	2,000 0	—	2,000			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	3,179,554	14,335,995	△ 11,156,441			
前期末支払資金残高(12)	34,002,493	34,002,493	0			
当期末支払資金残高(11)+(12)	37,182,047	48,338,488	△ 11,156,441			

資金収支内訳表

(自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日

(単位:円)

勘定科目		社会福祉事業	公益事業	収益事業	合計	内部取引 消去	法人全体
事業活動による収支	収入						
	介護保険事業収入	0	0	0	0	0	0
	老人福祉事業収入	0	0	0	0	0	0
	児童福祉事業収入	0	0	0	0	0	0
	保育事業収入	182,583,426	0	0	182,583,426	0	182,583,426
	就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0
	障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0
	生活保護事業収入	0	0	0	0	0	0
	医療事業収入	0	0	0	0	0	0
	〇〇事業収入	0	0	0	0	0	0
	〇〇収入	0	0	0	0	0	0
	借入金利息補助金収入	0	0	0	0	0	0
	経常経費寄附金収入	149,000	0	0	149,000	0	149,000
	受取利息配当金収入	35,810	0	0	35,810	0	35,810
	その他の収入	2,062,336	0	0	2,062,336	0	2,062,336
流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0	0	0	0	
事業活動収入計(1)	184,830,572	0	0	184,830,572	0	184,830,572	
支出							
人件費支出	117,899,488	0	0	117,899,488	0	117,899,488	
事業費支出	25,636,009	0	0	25,636,009	0	25,636,009	
事務費支出	7,252,256	0	0	7,252,256	0	7,252,256	
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	
授産事業支出	0	0	0	0	0	0	
〇〇支出	0	0	0	0	0	0	
利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	
支払利息支出	113,280	0	0	113,280	0	113,280	
その他の支出	0	0	0	0	0	0	
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0	0	0	0	
事業活動支出計(2)	150,901,033	0	0	150,901,033	0	150,901,033	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	33,929,539	0	0	33,929,539	0	33,929,539	
施設整備等による収支	収入						
	施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0	0
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0	0
	設備資金借入金収入	0	0	0	0	0	0
	固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0
	その他の施設整備等による収入	0	0	0	0	0	0
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0
	支出						
	設備資金借入金元金償還支出	2,360,000	0	0	2,360,000	0	2,360,000
	固定資産取得支出	379,000	0	0	379,000	0	379,000
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	0	0	0	
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	0	0	0	
その他の施設整備等による支出	0	0	0	0	0	0	
施設整備等支出計(5)	2,739,000	0	0	2,739,000	0	2,739,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 2,739,000	0	0	△ 2,739,000	0	△ 2,739,000	
その他の活動による収支	収入						
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	0	0	0
	長期運営資金借入金収入	0	0	0	0	0	0
	長期貸付金回収収入	0	0	0	0	0	0
	投資有価証券売却収入	0	0	0	0	0	0
	積立資産取崩収入	147,282	0	0	147,282	0	147,282
	事業区分間長期借入金収入	0	0	0	0	0	0
	事業区分間長期貸付金回収収入	0	0	0	0	0	0
	事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0
	その他の活動による収入	0	0	0	0	0	0
	その他の活動収入計(7)	147,282	0	0	147,282	0	147,282
	支出						
	長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	0	0	0
	長期貸付金支出	0	0	0	0	0	0
	投資有価証券取得支出	0	0	0	0	0	0
積立資産支出	17,001,826	0	0	17,001,826	0	17,001,826	
事業区分間長期貸付金支出	0	0	0	0	0	0	
事業区分間長期借入金返済支出	0	0	0	0	0	0	
事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	
その他の活動による支出	0	0	0	0	0	0	
その他の活動支出計(8)	17,001,826	0	0	17,001,826	0	17,001,826	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 16,854,544	0	0	△ 16,854,544	0	△ 16,854,544	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	14,335,995	0	0	14,335,995	0	14,335,995	
前期末支払資金残高(11)	34,002,493	0	0	34,002,493	0	34,002,493	
当期末支払資金残高(10)+(11)	48,338,488	0	0	48,338,488	0	48,338,488	

事業活動計算書

(自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	0	0	0
	老人福祉事業収益	0	0	0
	児童福祉事業収益	0	0	0
	保育事業収益	182,583,426	163,252,190	19,331,236
	就労支援事業収益	0	0	0
	障害福祉サービス等事業収益	0	0	0
	生活保護事業収益	0	0	0
	医療事業収益	0	0	0
	〇〇事業収益	0	0	0
	〇〇収益	0	0	0
	経常経費寄附金収益	149,000	188,025	△ 39,025
	その他の収益	0	0	0
	サービス活動収益計(1)	182,732,426	163,440,215	19,292,211
費用				
人件費	118,754,032	111,140,209	7,613,823	
事業費	25,636,009	24,723,388	912,621	
事務費	7,252,256	8,099,490	△ 847,234	
就労支援事業費用	0	0	0	
授産事業費用	0	0	0	
〇〇費用	0	0	0	
利用者負担軽減額	0	0	0	
減価償却費	17,483,565	17,506,806	△ 23,241	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 7,977,459	△ 7,995,436	17,977	
徴収不能額	0	0	0	
徴収不能引当金繰入	0	0	0	
その他の費用	0	0	0	
サービス活動費用計(2)	161,148,403	153,474,457	7,673,946	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	21,584,023	9,965,758	11,618,265	
サービス活動外増減の部	収益			
	借入金利息補助金収益	0	0	0
	受取利息配当金収益	35,810	31,127	4,683
	有価証券評価益	0	0	0
	有価証券売却益	0	0	0
	投資有価証券評価益	0	0	0
	投資有価証券売却益	0	0	0
	その他のサービス活動外収益	2,062,336	1,998,500	63,836
	サービス活動外収益計(4)	2,098,146	2,029,627	68,519
	費用			
支払利息	113,280	141,600	△ 28,320	
有価証券評価損	0	0	0	
有価証券売却損	0	0	0	
投資有価証券評価損	0	0	0	
投資有価証券売却損	0	0	0	
その他のサービス活動外費用	0	0	0	
サービス活動外費用計(5)	113,280	141,600	△ 28,320	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,984,866	1,888,027	96,839	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	23,568,889	11,853,785	11,715,104	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	0	0	0
	施設整備等寄附金収益	0	0	0
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収益	0	0	0
	固定資産受贈額	0	0	0
	固定資産売却益	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	特別収益計(8)	0	0	0
	費用			
	基本金組入額	0	0	0
資産評価損	0	0	0	
固定資産売却損・処分損	0	0	0	
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	0	
国庫補助金等特別積立金積立額	0	0	0	
災害損失	0	0	0	
その他の特別損失	0	0	0	
特別費用計(9)	0	0	0	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	0	0	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	23,568,889	11,853,785	11,715,104	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	30,384,072	30,530,287	△ 146,215
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	53,952,961	42,384,072	11,568,889
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	16,000,000	12,000,000	4,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	37,952,961	30,384,072	7,568,889

貸借対照表
平成 28 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当 年 度 末	前 年 度 末	増 減		当 年 度 末	前 年 度 末	増 減
流動資産	55,628,962	37,433,947	18,195,015	流動負債	9,650,474	3,431,454	6,219,020
現金預金	35,276,064	21,143,874	14,132,190	短期運営資金借入金	0	0	0
有価証券	0	0	0	事業未払金	5,581,605	1,742,133	3,839,472
事業未収金	16,965,115	1,077,020	15,888,095	その他の未払金	0	0	0
未収金	13,596	25,940	△ 12,344	支払手形	0	0	0
未収補助金	3,082,779	9,668,128	△ 6,585,349	役員等短期借入金	0	0	0
未収収益	0	5,102,690	△ 5,102,690	1年以内返済予定設備資金借入金	2,360,000	0	2,360,000
受取手形	0	0	0	1年以内返済予定長期運営資金借入金	0	0	0
貯蔵品	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	0	0	0
医薬品	0	0	0	1年以内返済予定役員等長期借入金	0	0	0
診療・療養費等材料	0	0	0	1年以内支払予定長期未払金	0	0	0
給食用材料	0	0	0	未払費用	0	0	0
商品・製品	0	0	0	預り金	0	0	0
仕掛品	0	0	0	職員預り金	1,708,869	1,689,321	19,548
原材料	0	0	0	前受金	0	0	0
立替金	0	0	0	前受収益	0	0	0
前払金	291,408	416,295	△ 124,887	仮受金	0	0	0
前払費用	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
1年以内回収予定長期貸付金	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
短期貸付金	0	0	0				
仮払金	0	0	0				
その他の流動資産	0	0	0				
徴収不能引当金	0	0	0				
固定資産	340,206,283	340,456,304	△ 250,021	固定負債	12,064,602	15,930,058	△ 3,865,456
基本財産	155,538,072	169,693,495	△ 14,155,423	設備資金借入金	4,720,000	9,440,000	△ 4,720,000
土地	22,005,000	22,005,000	0	長期運営資金借入金	0	0	0
建物	133,533,072	147,688,495	△ 14,155,423	リース債務	0	0	0
定期預金	0	0	0	役員等長期借入金	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	退職給付引当金	7,344,602	6,490,058	854,544
				長期未払金	0	0	0
その他の固定資産	184,668,211	170,762,809	13,905,402	長期預り金	0	0	0
土地	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
建物	914,378	1,029,878	△ 115,500				
構築物	11,532,184	13,079,632	△ 1,547,448	負債の部合計	21,715,076	19,361,512	2,353,564
機械及び装置	4,333,737	5,301,613	△ 967,876	純 資 産 の 部			
車輛運搬具	1	170,623	△ 170,622	基本金	93,333,747	93,333,747	0
器具及び備品	1,380,902	1,468,998	△ 88,096	国庫補助金等特別積立金	88,833,461	96,810,920	△ 7,977,459
建設仮勘定	0	0	0	その他の積立金	154,000,000	138,000,000	16,000,000
有形リース資産	0	0	0	措置施設繰越特定積立金	0	0	0
権利	4,763,200	4,763,200	0	人件費積立金	43,000,000	38,000,000	5,000,000
ソフトウェア	134,106	193,706	△ 59,600	修繕費積立金	0	0	0
無形リース資産	0	0	0	備品等購入積立金	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	保育所施設・設備整備積立金	111,000,000	100,000,000	11,000,000
長期貸付金	0	0	0	次期繰越活動増減差額	37,952,961	30,384,072	7,568,889
退職給付引当資産	7,344,602	6,490,058	854,544	(うち当期活動増減差額)	23,568,889	11,853,785	11,715,104
長期預り金積立資産	0	0	0				
措置施設繰越特定積立資産	0	0	0				
保育所繰越特定資産	43,000,000	38,000,000	5,000,000	純資産の部合計	374,120,169	358,528,739	15,591,430
保育所施設・設備整備積立資産	111,000,000	100,000,000	11,000,000				
差入保証金	0	0	0				
長期前払費用	0	0	0				
その他の固定資産	50,000	50,000	0				
資産の部合計	395,835,245	377,890,251	17,944,994	負債及び純資産の部合計	395,835,245	377,890,251	17,944,994